

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	管理会計（Control accounting） 393133-14600					担当教員	喬 雪氷 （キョウ セツヒョウ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
管理会計は企業マネジメントに関わるさまざまな意思決定を行う際に必要な会計の知識である。本講義は経営ビジネスシーンを仮定し、原価管理、短期意思決定及び長期的な意思決定の3つの側面から、各基礎概念を取りあげながら、演習を通して幅広く管理会計の知識を学ぶ。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
授業で配布する資料を復習する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「工業簿記1・2」、「原価計算論1・2」を併せて履修することを推奨する。
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 原価管理における各基礎概念を説明し、応用演習問題を解くことができる。 (ii) 管理会計における短期的意思決定の各要素を解釈し、応用演習問題を解くことができる。 (iii) 長期的な意思決定の各項目の事例を挙げられ、応用演習問題を解くことができる。
⑥ テキスト（教科書）
テキストは指定しない。各回、レジュメを配布する。
⑦ 参考図書・指定図書
櫻井通晴（2019）『管理会計 第七版』同文館出版 駒井伸俊（2021）『管理会計 本格入門』ソシム 上總康行（2021）『ケースブック 管理会計』新世社

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 各基礎概念を説明し、応用演習問題を解くことができる。	資料等に頼らず、応用演習問題を解き、自ら考察することができる。	資料等を見なくても、応用演習問題を解くことができる。	資料等を見なくても、一般演習問題を解くことができる。	資料を見ながら、一各基礎概念を説明し、一般演習問題を解くことができる。	資料を見ても、各基礎概念を説明することができない。
(ii) 短期的意思決定の各要素を解釈し、応用演習問題を解くことができる。	資料等に頼らず、応用演習問題を自ら結論することができる。	資料等を見なくても、短期意思決定に関する演習問題を解くことができる。	資料等を見なくても、短期意思決定に関する演習問題を解くことができる。	資料を見ながら、短期意思決定に関する演習問題を解くことができる。	資料を見ても、短期意思決定に関する演習問題を解くことができない。
(iii) 長期的な意思決定の各項目の事例を挙げられ、応用演習問題を解くことができる。	資料等に頼らず、長期的な意思決定に関連する応用演習問題を自ら結論する。	資料等を見なくても、長期的な意思決定に関連する応用演習問題を解くことができる。	資料等を見なくても、長期的な意思決定に関連する演習問題を解くことができる。	資料を見ながら、長期的な意思決定に関連する各項目事例を説明することができる。	資料を見ても、長期的な意思決定に関連する各項目事例を挙げられない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%	40%						100%
(i) 原価管理	20%	10%						30%
(ii) 短期的意思決定	20%	20%						40%
(iii) 長期的な意思決定	20%	10%						30%
フィードバックの方法	成績の評価は、期末テストの成績（60%）と不定期の小テストの成績（40%）の総合評価で行う。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
会社の経営では、何かを決めなければならない意思決定の場面が多数ある。そういう時に、数字の根拠があったほうが納得感が増す。意思決定する上で、真の数字の根拠を与えてくれるのが管理会計の考え方である。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス・管理会計の領域 ・財務会計と管理会計の違い	毎回、授業中にはノートを取る。配布する資料とノートを復習する。	60分
2	財務諸表のおさらい（B/S、P/L、C/F）	B/S、P/L、C/Fの基本構造を理解し、主要な項目を説明できる。	60分
3	原価管理のための管理会計① 原価計算の必要性・目的・種類・基礎概念	配布する資料とノートを復習したうえ、専門用語を説明できる。	60分
4	原価管理のための管理会計② ・標準原価計算と実際原価計算	配布した課題を解く。	60分
5	原価管理のための管理会計③ ・直接原価計算と全部原価計算	直接原価計算と全部原価計算の相違を説明できる。	60分
6	原価管理のための管理会計④ ・原価企画・ABC・ABM	原価管理の各考え方を説明できる。	60分
7	短期意思決定のための管理会計① ・埋没原価・機会原価・差額原価	各原価の意味を説明できる。	60分
8	短期意思決定のための管理会計② ・限界利益・貢献利益	利益概念について解釈できる。	60分
9	短期意思決定のための管理会計③ ・損益分岐点分析・安全余裕率	変動費と固定費を説明できる。	60分
10	短期意思決定のための管理会計④ 演習：コスト・販売量・利益の関係を考える	配布した演習問題を解く。	60分
11	中長期的な意思決定のための管理会計① ・企業価値・フリーキャッシュフロー	企業価値創造経営の必要性を理解し、企業価値測定の方法を述べる。	60分
12	中長期的な意思決定のための管理会計② ・事業セグメント利益管理・責任会計	事業部の業績測定に関わる用語を解釈できる。	60分
13	中長期的な意思決定のための管理会計③ ・資金調達のための資本コスト	資金調達の方法と調達のコストの基礎概念を説明できる。	60分
14	中長期的な意思決定のための管理会計④ ・設備投資と投資経済計算	投資判断に必要な要素を説明できる。	60分
15	総括	各回授業のポイントを振り返り、期末試験に向けた復習をする。	60分

⑫ アクティブラーニングについて	
授業の内容をもとに、プリント（練習問題）を配布することにより学習内容をフィードバックする。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性